

令和2年6月19日

平田高校野球部にご支援をいただいた皆様

第92回選抜高等学校野球大会

島根県立平田高等学校甲子園出場後援会

会長 山下 壮一

2020年甲子園高校野球交流試合への出場決定と甲子園出場後援会の活動継続について

梅雨の候 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。第92回選抜高等学校野球大会への出場決定に際しましては、多大なご支援を賜り、誠にありがとうございました。

さて、去る6月10日、日本高野連は「2020年甲子園高校野球交流試合」を8月10日～12日、15日～17日の6日間の日程で開催することを発表しました。この交流試合は、センバツへの出場が決まっていた32校に、甲子園球場での1試合を提供することを目的として開催されるものです。諦めかけていた甲子園初出場の夢が実現する方向となり、大変嬉しく思っております。

すでにお知らせしておりますとおり、センバツ出場に係る募金活動につきましては、大会の中止を受け、3月31日をもって終了させていただき、センバツ出場校に対する救済措置や夏の選手権大会出場への期待もあったことから、必要経費として支出した残額を本後援会で一旦お預かりして、その後の推移を見ながら取扱いを検討させていただくこととしておりました。しかしながら、日本高野連は、5月20日にセンバツに続いて夏の選手権大会の中止を決定し、センバツ出場校に対する救済措置についての見通しも示さなかったため、5月末で会計を締めて区切りをつけ、6月中旬を目途に決算報告書をお送りするための準備を進めておりました。

この度の交流試合の開催決定により状況は大きく変わり、本後援会としては、野球部の甲子園出場へ向けて引き続き対応していくことが必要となりました。皆様からお預かりしていた寄附金の残額を有効に活用させていただき、野球部の生徒たちが交流試合に自分たちの力のすべてを出し切ることができるように支援して参りたいと考えております。

つきましては、本後援会の活動を交流試合が行われる8月まで継続することとし、今後、甲子園出場のために必要となる経費を含めて決算報告をさせていただきたいと考えておりますので、ご承諾を賜りますようお願い申し上げます。また、甲子園で校歌を歌うことを目標に掲げ、ひたむきに努力しております野球部の生徒たちに、引き続き温かいご声援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。